

NEWS RELEASE

2024年2月16日
株式会社リビングくらしHOW研究所／株式会社サンケイリビング新聞社

データ&ランキング「フォーカスリサーチ」
手頃に外食を楽しめる「中華料理チェーン店」
コスパ・ちよい飲み満足度 1位は「熱烈中華食堂 日高屋」
ラーメンの味・炒飯の味満足度 1位は「揚州商人」
家族の利用しやすさ 1位は「バーミヤン」、利用率 1位は「餃子の王将」

株式会社リビングくらしHOW研究所と株式会社サンケイリビング新聞社が、多彩なテーマと切り口で実施する、データとランキングの消費者調査「フォーカスリサーチ」。今回は、1人から家族までリーズナブルに外食を楽しめる「中華料理チェーン店」について発表します。

満足度では、コスパ・ちよい飲み・1人利用での1位が「熱烈中華食堂 日高屋」、ラーメン・炒飯の味についての1位が「揚州商人」に。また、家族の利用しやすさ1位は「バーミヤン」、利用率1位は「餃子の王将」となりました。

満足度 ※利用者評価

■手軽に利用できる「コスパ」「ちよい飲み」「1人利用」で最も評価されたのは？

1位 熱烈中華食堂 日高屋

中華料理チェーン店の利用者にとってありがたいのが「コスパ」の良さ。さらにニーズが多い「ちよい飲み」や「1人利用」のしやすさの3点において満足度1位となったのが、「熱烈中華食堂 日高屋」です。「中華そば」をはじめとするフード類がリーズナブルでボリューム感もある点、1人でも気軽に入れる店舗設計、さらにビールなどドリンク類の手頃さなどが高く評価されました。



▶「熱烈中華食堂 日高屋」利用者のコメント

味がしっかりしていて美味しい (35歳・女性) / コスパが非常に良い点。サクッと飲んで帰るのに丁度いい (38歳・女性) / 安くて気軽に利用できる。注文までの店員さんの動きが決まっていてスピーディーに対応してくれる (44歳・女性) / 仕事の外回り時の1人ランチで入りやすい (44歳・女性) / ボリュームがあってコスパがいい点 (45歳・女性) / おつまみの種類が多く、1人のみでふらっと入れる (50歳・女性) / タンメンがおいしい (54歳・男性) / 総合的なメニューの充実度が高い (58歳・男性) / 手頃で美味しいし、野菜満点のメニューがある (64歳・女性) / ビールが安い (67歳・男性)

■「ラーメンの味」「炒飯の味」で最も評価が高いのは？

1位 揚州商人

首都圏のみの展開ながら、ラーメン・炒飯の味で満足度 1 位を獲得したのは「揚州商人」。30 種類以上ものラーメン、餃子などの点心ほか、すべてにおいて味にこだわったメニューが支持を集めました。

▶「揚州商人」利用者のコメント

唯一無二のメニューで、わざわざ行きたくなるお店。店舗数が多くないのでもう少し近くにあるとうれしい（34 歳・女性）／ラーメンがおいしい。ランチでも色々選べて助かる（35 歳・女性）／揚州炒飯が非常に美味しい。この炒飯だけで通っていると言っても過言ではない（35 歳・男性）／とにかくおいしい。毎回同じメニューを頼んでいるので他のものはわかりませんが。同じものを何回も食べたいと思えるチェーン店です（37 歳・女性）／麺の料理がどれもおいしく、種類が豊富。麺の種類が好みによって選べるところがいい。サイドメニューも手軽に注文しやすいサイズ感や価格で利用しやすい（43 歳・女性）



■「餃子の味」で最も評価が高いのは？

1位 ぎょうざの満州

国産素材を使用したこだわりの餃子が満足度 1 位に。餃子のほか、ラーメンや一品料理なども楽しめる店舗についての評価のほか、テイクアウトや EC サイトで冷凍餃子を利用しているというコメントも多くみられました。

▶「ぎょうざの満州」利用者のコメント

持ち帰りの餃子をよく買います。満州は皮がもちもちで美味しいです（34 歳・女性）／熱々出来立てで素早く提供して下さるので、夜の疲れた時間にも帰宅前に寄りたいと思います。また、火力が強いのか家庭では出せない香ばしさが美味しくて良いです（37 歳・女性）／お土産用にいつも冷凍餃子を買ってかえります（42 歳・女性）／餃子が美味しい！冷凍餃子は我が家の冷凍庫に欠かせません（女性・50 歳）／餃子が手作り感があって美味しい（52 歳・男性）／割引券がついた広告がはいつてきたり、ぎょうざの特売日がある（57 歳・女性）



■家族での利用しやすさで最も評価が高いのは？

1位 バーミヤン

家族での利用しやすさでは「バーミヤン」が満足度 1 位に。子ども用のメニューがある点や、ドリンクバイキング、デザートが充実しているなど、大人から子供まで楽しめる点がポイントに。また、配膳ロボットが「かわいい」「子供がよろこぶ」というコメントもあり家族で食事を楽しむための仕掛けがある点も評価につながりました。



▶「バーミヤン」利用者のコメント

子どものメニューがある。クーポンコードがよく出ており、お得に食べられる。子ども椅子や食器があり、助かる（35歳・女性）／子ども連れも多くファミリーで利用しやすい（37歳・女性）／店内が広くてベビーカーでも通れる（37歳・女性）／デリバリーもやっているの助かる（41歳・女性）／ドリンクバーが良い（42歳・女性）／コスパ抜群！メニューが豊富で、デザートも台湾風のものまであって美味しい（52歳・女性）／安くて、少量のものもあるので、家族で行くといろいろ頼める（53歳・女性）／中国茶の種類が豊富である（59歳・男性）

利用率

■最も多くの人々が利用する中華料理チェーンは？

1位 餃子の王将

全国に多くの店舗を展開する「餃子の王将」。コスパ、味、メニューの豊富さ、料理の提供のしやすさなど、中華料理チェーン店として総合的に評価するコメントがあがり、利用率1位に。



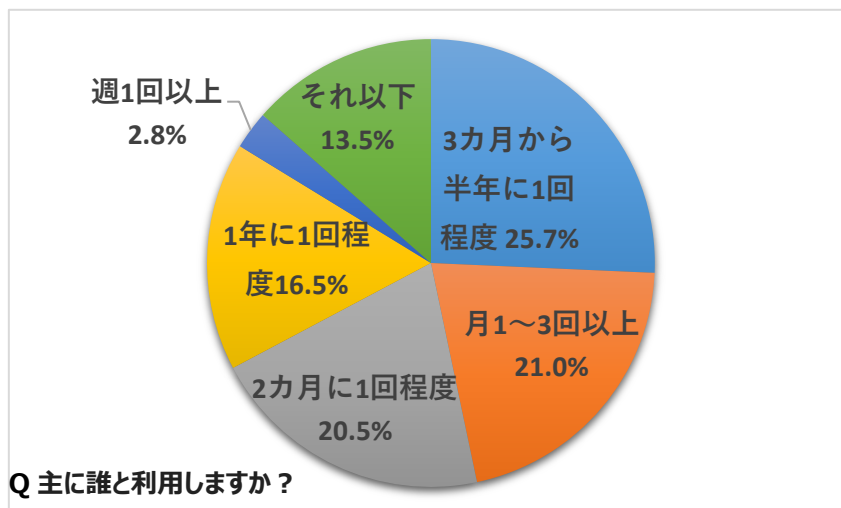
▶「餃子の王将」利用者のコメント

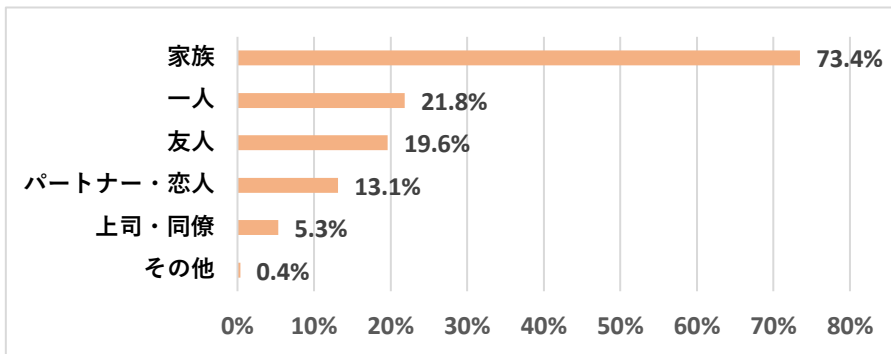
コスパが良く、特に餃子が美味しい。パリパリの皮が本格感がある（30歳・女性）／家族全員味が気に入っています（40歳・女性）／セットメニューなどが豊富で良いと思う（40歳・女性）／中華が本格的だが、日本人向けで子供も食べられるメニューが多く、味がいい（40歳・女性）／味がうまい（35歳・男性）／注文してから待ち時間が短いこと（41歳・男性）／お弁当のごはんをチャーハンにできる（47歳・女性）／入りやすく満足感のある食事ができる（52歳・女性）

ResearchDATA

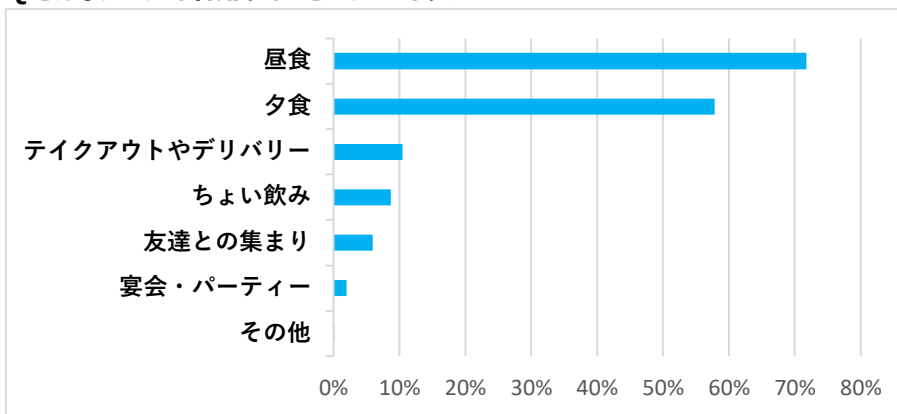
およそ4人に1人が月1回以上中華料理チェーン店を利用
ファミリーが主流ながら、1人利用やテイクアウトなどにもニーズが

Q 中華料理チェーン店を利用する頻度は？





Q どんなシーンで利用することが多いですか？



普段、中華料理チェーン店を利用する頻度をたずねたところ、週1回以上のヘビーユーザーが2.8%、月1~3回以上の21.0%も合わせて23.8%。およそ4人に1人が、月1回以上中華料理チェーン店を利用していると回答。私たちの食生活にとって身近な存在であることがわかります。家族と、昼食や夕食で、というのが主要な利用シーンですが、一方で、1人や友達同士で利用する人も一定数存在。ファミリーの利用しやすい店づくりやサービスの充実と同時に、ちょい飲みや1人利用、さらにはテイクアウトやデリバリーなど、多様なニーズへの対応も求められていると言えます。

【調査概要】2023年12月15日~12月26日、サンケイリビング新聞社の公式サイト「リビング Web」「シティリビング Web」のメール会員、「リビングファン」「City's」読者会員へのWebアンケート。結果をもとに、独自の集計方法でポイント化し集計

【回答者】有効回答数 4360人 / 平均年齢 51.9 / 全国 20代~70代の男女 女性 80.5%、男性 19.5% / 独身 28.4%、既婚 71.6% / 正社員 36.9%、パート・アルバイト 21.5%、契約社員・嘱託社員 5.9%、自営業・自由業（フリーランス） 5.3%、派遣社員 2.9%、会社経営・役員 1.2%、働いていない 24.8%、その他 1.4% ※データは小数点 2 位以下四捨五入

【調査対象】大阪王将 / 餃子の王将 / ぎょうざの満洲 / 幸楽苑 / 西安餃子 / 塩元帥 / 小肥羊 / チャオチャオ / 珍来 / 鼎泰豊（ディンタイフォン） / 南京亭 / 熱烈中華食堂 日高屋 / バーミヤン / 梅蘭 / 紅虎餃子房 / 味仙 珉珉（ミンミン） / 揚州商人 / 来来亭 / リンガーハット / れんげ食堂 Toshu / 万豚記 ※五十音順

■■■本リリース内容のご活用やお問い合わせ先■■■

株式会社リビングくらし HOW 研究所 担当 堀、藤田、古澤

info@kurashihow.co.jp

■株式会社リビングくらし HOW 研究所

本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー36 階

電話 03-4332-7790 (代表) <https://www.kurashihow.co.jp/>

女性市場に関する調査・分析、マーケティングコンサルティングなどを行うリビンググループのシンクタンク

■株式会社サンケイリビング新聞社

本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー36 階

電話 03-4332-7741 (代表) <https://www.sankeiliving.co.jp/>

暮らしに役立つ生活情報を発信するフリーペーパー「リビング新聞」、オフィスで働く女性に特化した共感型メディア「シティリビング」の発行をはじめ、新聞・雑誌の発行、インターネット等を含めたコンテンツ全般に関する事業を展開
